信州大学学術研究院　教育学系　講師または助教
（主担当：教育学部英語教育コース）公募要領

１．公募の趣旨・背景

グローバル化に対応した教育改革が進む中で，高い英語コミュニケーション能力を持った教員の養成が求められている。また，小学校において外国語活動の開始学年が引き下げられ，高学年において教科化が行われており，児童生徒の発達段階に応じた英語教育の理解を深めた教員を養成することがさらに重要になっている。本学では，英語教育の基幹分野である英語科教育分野において，理論と実践の調和を図りながら英語教育実践を展開できる高い教育研究能力を有し，学校教員養成を主導的に推進するリーダーとなりうる人材を一般公募とする。

２．職名・人員

講師または助教・１名

３．所属学系

信州大学学術研究院　教育学系

４．主担当学部等

教育学部　英語教育コース

５．研究分野

英語科教育分野

６．職務

担当授業科目（*は複数教員による分担）

ア．学　部：英語科授業学，英語科評価論，英語科指導法演習Ⅰ，英語基礎*，小学校教室英語コミュニケーション，英語教育ゼミナール*，英語コミュニケーション特殊演習Ⅰ・Ⅱ，コンピュータ利用教育*，卒業研究など
（松本キャンパスにおいて共通教育科目及び専門科目を担当することがある。）

イ．大学院（高度教職実践専攻）：授業・学校づくりチーム演習*，学校・地域活性化チーム演習*，臨床実践研究とリフレクションⅠ～Ⅳ*，高度実践研究とリフレクションⅠ～Ⅳ*，教科横断教育研究論*，教育調査方法基礎*，英語科授業内容研究*，英語科教材開発演習*，英語科授業分析演習*，英語科指導案構築演習*、英語科授業方法研究*，教科課題特別研究Ⅰ・Ⅱ

７．応募資格

(1) 大学院修士課程修了またはこれに相当する研究業績を有すること（博士の学位を有することが望ましい）
(2) 英語科教育に関する業績を有すること
(3) 教員養成及び教員研修に取り組む意欲を有すること
(4) 初等教育機関あるいは中等教育機関等での勤務経験（非常勤講師を含む）を有することが望ましい
(5) 外部資金獲得や社会活動等に取り組む意欲を有すること
(6) 英語を母語とする方、またはそれに準じた英語の運用能力を有する方。日本語を母語としない方の場合には、日本語の運用能力を充分に有すること。

８．採用予定日

令和 10 年 4 月 1 日

９．任期

任期の定めなし

（定年は年齢 65 歳とし，定年に達した日以後における最初の 3 月 31 日に退職する）

１０．待遇

給与：本学規定に基づく年俸制

（国立大学法人信州大学年俸制適用職員給与細則第 4 条及び第 5 条適用）

勤務地：信州大学長野（教育）キャンパス（長野県長野市西長野６－ロ）

勤務形態：常勤，裁量労働制

社会保険等：文部科学省共済組合，雇用保険加入

このほか，国立大学法人信州大学の規定に基づく

１１．提出書類

(1) 履歴書（市販の用紙も可。写真貼付）

＊履歴書の様式は，指定しませんが，賞罰について項目のある履歴書をご使用ください。もし，賞罰について項目がない様式をご使用する場合は，備考欄等に，賞罰について，記載願います。賞罰について，記載のない場合は，面接等で確認させていただきます。

(2) 最終学歴を証明する書類

(3) 研究業績目録（外部資金の獲得実績や申請状況等を含む）

（ホームページ https://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/education/news/participants/ から書式をダウンロードし記入すること）

(4) これまでの研究概要を著書・論文などと関連させて記載したもの（1000 字程度・書式自由・日本語）

(5) 教育活動歴

ア．諸学校や社会における特記すべき教育活動歴（講演，研究会，研究授業などにおける助言・指導歴，審議会・協議会などの委員の経歴など）を年月順に記載のこと

イ．教育に関する資格及び教育上での受賞歴

ウ．担当授業科目　高等教育機関においてこれまでに担当した授業科目名

エ．大学院研究科での研究指導歴もしくは研究指導補助歴　主査もしくは副査として学位を取得させた大学院生数（主査の場合，副査としての数も括弧書きで示す）

(6) これからの本学部・大学院での教育に対する抱負を，教育活動歴及びその内容を踏まえて記載したもの（1000 字程度・書式自由・日本語）

上記（1）～（6）について，各 1 通を提出すること。

上記（3）に記載の業績のうち主要な５点について，現物もしくは別刷またはコピーを各１部提出のこと。なお，後日，目録記載のすべてについて現物またはコピーの提出を求めることがある。

１２．応募締切

令和 9 年 6 月 30 日（水）必着

１３．選考方法

第一次選考（書類審査）を経て，第一次選考合格者に対する第二次選考（面接及び模擬授業）により選抜を行う。（その際の旅費等は応募者の自己負担とする。）

※信州大学は男女共同参画を推進しており，業績等（研究業績，教育業績，社会的貢献ほか）及び人物の評価において同等と認められた場合には女性を採用します。ただし，これは性別のみで優先的に採用することを認めるものではありません。

１４．書類提出先

〒380-8544　長野市西長野６-ロ
信州大学教育学部長　西一夫　宛
（必ず郵便書留とし，表に「英語教育コース　教員応募書類在中」と朱書きすること。）

１５．問合せ先の e-mail

kyou_saiyo08@shinshu-u.ac.jp

１６．信州大学教育学部のホームページの URL

https://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/education/

１７．その他

・信州大学では，研究者がその能力を最大限発揮できるよう，研究補助者制度やメンター制度の導入による研究環境の整備を行っています。特に，女性研究者支援として，新規採用の女性教員（常勤）に研究費を支援する「スタートアップ研究費支援」や，育児・介護休業等から研究活動に復帰した際に研究費を支援する「リスタートアップ研究費支援」を実施しています。また，教職員のワーク・ライフ・バランスの推進として，学内保育施設運営，ベビーシッター派遣事業割引券の配付，大学入学共通テスト等における一時保育など男女共同参画へ積極的な取り組みを行っています。

・信州大学では，極めて優秀な若手研究者に「RisingStar 教員」の称号を授与し，手当の支給，早期昇進機会を付与するなどの優遇措置を行うことで，最先端の研究を牽引するトップレベル研究者を養成する制度を設けております。

・履歴書には賞罰・処分歴等欄を設け，受賞歴と，前科及び懲戒処分歴をそれぞれ記載してください。前科及び懲戒処分歴に該当事項がありながらそれらを記載しない場合は経歴詐称とみなす場合があり，採用取消や懲戒解雇等に繋がる可能性があります。